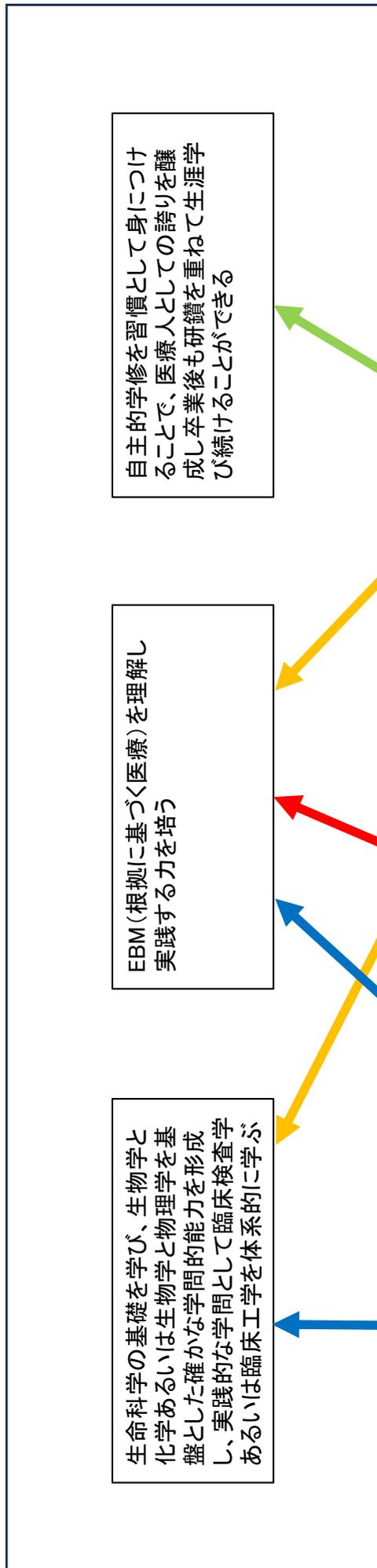


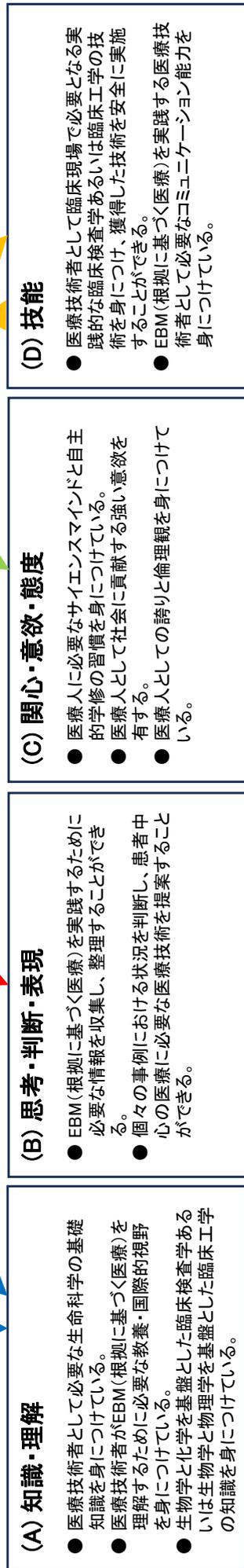
## 資料目次

資料番号	資料頁	資料内容	本文頁
資料1	2頁	養成する人材像とディプロマ・ポリシーとの関連図	6頁
資料2	3頁	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの関連図	9頁
資料3	4頁	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとアドミッション・ポリシーとの関連図	15頁
資料4	5頁	履修モデル	21頁

養成する人材像



ディプロマ・ポリシー



ディプロマ・ポリシー（DP）とカリキュラム・ポリシー（CP）との相関図

	A.知識・理解	B.思考・判断・表現	C.関心・意欲・態度	D.技能
DP	医療技術者として必要な生命科学の基礎知識を身につけている。	EBM（根拠に基づく医療）を実践するために必要な情報を収集し、整理することができる。	医療人に必要なサイエンスマインドと自主的学修の習慣を身につけている。	医療技術者として臨床現場で必要となる実践的な臨床検査学あるいは臨床工学の技術を身につけ、獲得した技術を安全に実施することができる。
	医療技術者がEBM（根拠に基づく医療）を理解するために必要な教養・国際的視野を身につけている。	個々の事例における状況を判断し、患者中心の医療に必要な医療技術を提案することができる。	医療人として社会に貢献する強い意欲を有する。	EBM（根拠に基づく医療）を実践する医療技術者として必要なコミュニケーション能力を身につけている。
	生物学と化学を基盤とした臨床検査学あるいは生物学と物理学を基盤とした臨床工学の知識を身につけている。		医療人としての誇りと倫理観を身につけている。	

	A.知識・理解	B.思考・判断・表現	C.関心・意欲・態度	D.技能	
CP	基盤教育科目	EBM（根拠に基づく医療）の理解に必要な教養・国際的視野を習得させるため、基盤教育科目を配置する。			
	学部共通科目	生命科学の基礎知識を習得させるため、学部共通科目を配置する。			
		生物学と化学を基盤とした臨床検査学あるいは生物学と物理学を基盤とした臨床工学の知識を習得させるため、学部共通科目を配置する。			
	共通専門科目	生命科学の基礎知識を習得させるため、共通専門科目を配置する。	臨床現場において個々の事例における状況を判断し、患者中心の医療に必要な医療技術を提案することができる能力を習得させるため、共通専門科目を配置する。	医療人として社会に貢献する強い意欲を醸成するため、共通専門科目に医学概論と臨床医学総論を配置する。	
		生物学と化学を基盤とした臨床検査学あるいは生物学と物理学を基盤とした臨床工学の知識を習得させるため、臨床検査学・臨床工学を横断的に学べる共通専門科目を配置する。			
臨床検査学コース専門科目・臨床工学コース専門科目(臨地実習・臨床実習を除く)	臨床検査学コースでは基礎医学全般を幅広く学び、臨床工学コースでは基礎医学と電気工学・医用工学を併行して学ぶことが可能なコース専門科目を配置する。	臨床現場において個々の事例における状況を判断し、患者中心の医療に必要な医療技術を提案することができる能力を習得させるため、コース専門科目(講義)を配置する。		医療技術者として臨床現場で必要となる各コースにおける専門的な技術を習得させるため、コース専門科目(実験・実習・演習)を配置する。	
臨地実習(臨床検査学コース専門科目)・臨床実習(臨床工学コース専門科目)			医療人としての誇りと倫理観を習得させるため、3・4年次に臨地実習・臨床実習を配置する。	EBM（根拠に基づく医療）を実践する医療技術者として必要なコミュニケーション能力を習得するため、3・4年次に臨地実習・臨床実習を配置する。	
特別研究(関連科目を含む)		EBM（根拠に基づく医療）を実践するために必要な情報を収集し、整理する能力を習得させるため、3年次に特別研究関連科目の医科学研究論・ゼミナール、4年次に特別研究を配置する。	医療人に必要なサイエンスマインドと自主的学修の習慣を習得させるため、3年次に特別研究関連科目の医科学研究論・ゼミナール、4年次に特別研究を配置する。		

\* DP・CPの同色は相関していることを示す。

ディプロマ・ポリシー（DP）とカリキュラム・ポリシー（CP）とアドミッション・ポリシー（AP）との相関図

		A.知識・理解	B.思考・判断・表現	C.関心・意欲・態度	D.技能
DP		医療技術者として必要な生命科学の基礎知識を身につけている。	EBM（根拠に基づく医療）を実践するために必要な情報を収集し、整理することができる。	医療人に必要なサイエンスマインドと自主的学修の習慣を身につけている。	医療技術者として臨床現場で必要となる実践的な臨床検査学あるいは臨床工学の技術を身につけ、獲得した技術を安全に実施することができる。
		医療技術者がEBM（根拠に基づく医療）を理解するために必要な教養・国際的視野を身につけている。	個々の事例における状況を判断し、患者中心の医療に必要な医療技術を提案することができる。	医療人として社会に貢献する強い意欲を有する。	EBM（根拠に基づく医療）を実践する医療技術者として必要なコミュニケーション能力を身につけている。
		生物学と化学を基盤とした臨床検査学あるいは生物学と物理学を基盤とした臨床工学の知識を身につけている。		医療人としての誇りと倫理観を身につけている。	
CP	基盤教育科目	EBM（根拠に基づく医療）の理解に必要な教養・国際的視野を習得させるため、基盤教育科目を配置する。			
	学部共通科目	生命科学の基礎知識を習得させるため、学部共通科目を配置する。 生物学と化学を基盤とした臨床検査学あるいは生物学と物理学を基盤とした臨床工学の知識を習得させるため、学部共通科目を配置する。			
	共通専門科目	生命科学の基礎知識を習得させるため、共通専門科目を配置する。 生物学と化学を基盤とした臨床検査学あるいは生物学と物理学を基盤とした臨床工学の知識を習得させるため、臨床検査学・臨床工学を横断的に学べる共通専門科目を配置する。	臨床現場において個々の事例における状況を判断し、患者中心の医療に必要な医療技術を提案することができる能力を習得させるため、共通専門科目を配置する。	医療人として社会に貢献する強い意欲を醸成するため、共通専門科目に医学概論と臨床医学総論を配置する。	
	臨床検査学コース専門科目・臨床工学コース専門科目(臨地実習・臨床実習を除く)	臨床検査学コースでは基礎医学全般を幅広く学び、臨床工学コースでは基礎医学と電気工学・医用工学を併行して学ぶことが可能なコース専門科目を配置する。	臨床現場において個々の事例における状況を判断し、患者中心の医療に必要な医療技術を提案することができる能力を習得させるため、コース専門科目(講義)を配置する。		医療技術者として臨床現場で必要となる各コースにおける専門的な技術を習得させるため、コース専門科目(実験・実習・演習)を配置する。
	臨地実習(臨床検査学コース専門科目)・臨床実習(臨床工学コース専門科目)			医療人としての誇りと倫理観を習得させるため、3・4年次に臨地実習・臨床実習を配置する。	EBM（根拠に基づく医療）を実践する医療技術者として必要なコミュニケーション能力を習得するため、3・4年次に臨地実習・臨床実習を配置する。
	特別研究(関連科目を含む)		EBM（根拠に基づく医療）を実践するために必要な情報を収集し、整理する能力を習得させるため、3年次に特別研究関連科目の医科学研究論・ゼミナール、4年次に特別研究を配置する。	医療人に必要なサイエンスマインドと自主的学修の習慣を習得させるため、3年次に特別研究関連科目の医科学研究論・ゼミナール、4年次に特別研究を配置する。	
AP		医療技術学を学ぶ強い意欲をもち、教育を受けるために必要な基礎的な知識・コミュニケーション技能を身につけている。	生命科学の真理探究に強い関心をもち、論理的に考えることを通して主体的及び協働的に学修できる。	医学・医療に関心が強く、将来この分野で活躍したいと考えている。	医療技術学を学ぶ強い意欲をもち、教育を受けるために必要な基礎的な知識・コミュニケーション技能を身につけている。

\* DP・CP・APの同色は相関していることを示す。

## 履修モデル

## 生命科学部／医療技術学科【臨床検査学コース】

科目群	系列	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	
基盤教育科目		◎フレッシュマンセミナー キャリアデザイン1 データを読みとく ◎情報リテラシー コンピュータ演習 自然を読みとく	2 1 2 2 2	キャリアデザイン2 技術を読みとく 人間を読みとくA	1 2 2	キャリアデザイン3 情報科学概論	1 1	キャリアデザイン4 関係法規	1 1	
	外国語系科目	◎初修外国語1 基盤英語(初級)	2 2	英語コミュニケーション	2					
推奨基盤教育科目を含めて、「ライフ・キャリアデザイン系」「人文・社会科学系」「科学技術系」「外国語教育系」「ブランド科目系」の科目群から26単位以上(「外国語教育系」は卒業時の修得要件は6単位)を修得すること。詳細は学生便覧を参照すること。										
計			15		7		2		2	
科目群	系列	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	
専門教育科目	学部共通科目	生命科学概論Ⅰ 生命科学概論Ⅱ	2 2							
	共通専門科目	生化学 栄養学 生理学Ⅰ 解剖学 公衆衛生学 ◎医学概論 医用工学概論 生体物性工学	2 2 2 2 2 1 2 2	薬理学 分子遺伝学 免疫学 微生物学 再生医療移植学	2 2 2 2 1	臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 検査総合管理学	2 2 2	臨床医学総論Ⅲ	2	
	臨床検査学コース 専門科目(講義)	生理学Ⅱ 病理学	2 2	病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 輸血検査学 病原微生物学 先端医学機器論 生理検査学Ⅰ	2 1 2 1 2 2 2 2	生理検査学Ⅱ 医療安全管理学 臨床栄養学 生化学検査学 一般検査寄生虫学 医科学研究論	2 1 2 2 2 1			
	臨床検査学コース 専門科目(実習)			病理学実習 遺伝子検査学実習 血液検査学実習	2 1 1	生理学実習 医療安全管理学実習 生化学検査学実習 一般検査寄生虫学実習 輸血移植検査学実習 免疫検査学実習 微生物検査学実習 医用工学実習 臨地実習Ⅰ	2 1 1 1 1 1 2 1 2	生理検査学実習 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ	2 2 12	
									◎特別研究	2
	計			23		27		28		20
	合計			38		34		30		22

26

98

124

履修モデル

生命科学部／医療技術学科【臨床工学コース】

科目群	系列	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	区分合計
基盤教育科目		◎フレッシュマンセミナー キャリアデザイン1 基盤数学(微分積分1) 基盤数学(線形代数) ◎情報リテラシー コンピュータ演習 情報処理工学	2 1 2 2 2 2 2	キャリアデザイン2 データを読みとく 技術を読みとく	1 2 2	キャリアデザイン3	1	キャリアデザイン4 関係法規	1 1	21
	外国語系科目	◎初修外国語1 基盤英語(初級)	2 2	英語コミュニケーション	2					6
	推奨基盤教育科目を含めて、「ライフ・キャリアデザイン系」「人文・社会科学系」「科学技術系」「外国語教育系」「ブランド科目系」の科目群から26単位以上(「外国語教育系」は卒業時の修得要件は6単位)を修得すること。詳細は学生便覧を参照すること。									
	計		17		7		1		2	27
科目群	系列	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	区分合計
通学生命部 科目共科		生命科学概論Ⅰ 生命科学概論Ⅱ	2 2							4
医療技術学科共通 専門科目・臨床工学コース 専門科目	医学系科目	◎医学概論 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 解剖学 公衆衛生学 病理学 生化学 基礎医学実習	1 2 2 2 2 2 2 1	薬理学 免疫学	2 2	臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ	2 2	チーム医療概論 臨床医学総論Ⅲ 臨床医学総論Ⅳ	1 2 2	27
	工学系科目	電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 計測工学 医用工学概論 生体物性工学 医用材料工学	2 2 2 2 2 2	医用機械工学 電気工学演習	2 1			臨床工学演習Ⅰ 臨床工学演習Ⅱ	1 1	24
	医療機器系科目			医用機器学概論 医療安全学 医用治療機器学 医用生体計測装置学 生体機能代行装置学Ⅰ 生体機能代行装置学Ⅱ 生体機能代行装置学Ⅲ 医用機器安全管理学Ⅰ	2 2 2 2 4 4 2 2	臨床支援技術学 医用機器安全管理学Ⅱ 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ 生体機能代行装置学実習Ⅱ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 医用機器安全管理学実習	2 2 1 1 1 1 1 1	臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ	1 1 2 2 1	37
	演習系科目			ME技術演習	1	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	1 1	◎特別研究	2	5
		計		30		35		16		16
合計		1年次計	47	2年次計	42	3年次計	17	4年次計	18	124